

弘采録目録

- 第 1 阿古屋松論 白井固戯文 源弘賢額字説並附録 安藤為章随筆 徂徠勅書
神保子純西遊送別詩文抄
- 第 2 梶原久三郎日記抄 大泉崎士卮言 本間光丘之話 藤島法眼寺覚玄
渡種徳行行状 楠正行 渡部郷兵衛の弁 蛇田碑 出羽住鍛冶一家 田中蘭齋
- 第 3 榊巷談苑抄 富嶽詩歌 酒豪豪良 橘宗仙院の狂歌 田中万春の詩 む貝考
荒川子哲墓碣銘 職人歌合作者考 刀剣及甲冑製作弁 雲根志 河虎の陽
作歌韋絃 白河侯 阿部伊勢守 龍公美 居合の起源 巨盜獅子坊 名鷹岩手
文徳三代実録抄 佐藤藤蔵碑 須磨琴 一絃琴由来記 詩聖堂詩話抄 蘭解
燕子花杜若の弁 山吹の弁
- 第 4 茶湯の事 天海僧正伝 神代文字 鳩巢諫白石書 白石与鳩巢書
白石報小瀬俊庵書 十訓抄四節 都府楼及天智秋田御製考山岡俊明
多田翁助行実略抄 哀辞杉山一貫彦 大同医式
- 第 5 梅村載筆抄林羅山 儉約倭漢同轍の事 武家小児の志気 陶山虎松
役者の殊勝並庸夫又八の話 小窓閑話抄鈴木忠侯 山口行齋長崎消息 諸書抄
- 第 6 真淵千蔭家集抄
- 第 7 耳口録抄 渡部郷兵衛伝 落付郷兵衛 畸形児 諸社寺古跡書上 藤樹書翰
筆のすさみ抄田中蘭齋
- 第 8 耳口録抄白井重種 大泉百談稿卷一卷二杉山一貫彦
- 第 9 隠見録抄著者不詳 寡婦利源鵬 世の手本渋井大室 善知鳥考
- 第 10 大石良雄筆神祖御詠 狩川大堰由来記抄 士人録抄 荘内縁起抄
庄内史籍解題数項 進藤和泉の事 初御入部珪徳公逸事
古来家老被勤候人々の事 成覚公御代分限帳
- 第 11 掃聚雜抄著者不詳 深秘録抄不詳 備忘雜記 書学私言田中蘭齋自筆
- 第 12 筆のすさみ抄横山八右衛門 雜記数則 庄内寺社杉山一貫政府見聞私記抄
慕京集太田道灌 古学先生和歌集 正名緒言菱浜大観 田川八幡の什物
しのぶ草杉山廉女小伝玄齋著
- 第 13 読史渉筆雜抄准后考白石古学問答抄伊勢貞丈
- 第 14 読史渉筆故実問答抄古史通或問抄白石愚得随筆抄朝倉景衡刀剣部
- 第 15 画譚鶏肋続貂玄齋
- 第 16 国語考荷田訓之 小寺文貢逸話
- 第 17 玄齋筆記卷一
- 第 18 玄齋筆記卷四
- 第 19 玄齋筆記卷三
- 第 20 文淵詩源徂徠口授 閑事業 白石叢書総目録 江戸諸家人名録

小関弁助書簡 螢火丸 群書類従抄

- 第21 群書類従抄 大泉叢志序 小寺信正堀季雄逸話 歌論三則 雑記三則
- 第22 消閑満録玄斎
- 第23 愚得随筆抄甲冑部 黄門白石問答
- 第24 菅像辨伊勢貞丈 朝鮮物語抄大河内秀元 雑抄
- 第25 雑記
- 第26 消閑満録
- 第27 雑載
- 第28 雑載
- 第29 日の枝折堀季雄 茶呑咄抄相良繩正 同志夜話抄日夏繁高 刀剣談
- 第30 雑記五則 大日本史の話坂尾万年 塚武仲兄弟の志行 塩尻抄天野信景
雑抄 南畝莠言抄 八乙女道の記玄斎
- 第31 塩尻抄 竹内大夫逸事 馬談二則 高力忠兵衛の素性 白石の俳諧
間部詮房 画談三則 塩尻抄 神祖訓言 塩尻抄 茶式 茶煙草の論
支蘭蔵 貉の書 往古貨幣 隠目附
- 第32 雑抄二十一則 妙海語佐治為綱
- 第33 麗沢秘策抄
- 第34 賢者の詞 吉田官 正宗刀 秋米両藩御金紛失所置方 佐竹義方君
豆州公二緡銭 神君浅野困碁 お多福画讃 急請取物の事 蛇河豚解毒薬
細川家大夫北爪弾蔵並加藤大弼の事 名人の洒落 天変少将無月宰相
犬の名 鞆考 築垣 武士の家造り 文覚上人の歌 泉殿 塗籠
庭の立石 水うまや 新国史 世継物語
- 第35 田中蘭齋学書心得手簡抄 小寺信正自立学問手簡 龍骨の話 小倉藩法
霊社考 鑄工亀女 増山侯風流 本多六郎剛直 高力但馬 日夏繁高
仙台の話 賢君松本侯
- 第36 癩癖談抄上田秋成 門田の早苗抄伴蒿溪 萍の跡立綱法師 遊女玉蘭及芳野
北窓瑣談抄 東陽子 梧窓漫筆抄 つれく 草参考抄堀季雄説書入
鳥海玄柳翁書翰 荷田訓之自筆仮名遣
- 第37 遠城寺復仇 大石良雄小柄の銘 瀬田問答抄太田蜀山問瀬名貞雄答
蜀山人冬の歌 蘭齋の書 雑記二則 神木大樹の怪付勇婦二件
旅行用心集抄 雑記三則 帝王諡号 塩尻抄 人魚の説 二本松侯政談抄
- 第38 耳囊抄根岸守信
- 第39 近代名歌文抄
- 第40 龍の宮居夢物語 明良洪範抄
- 第41 羽州狩川邑阿古屋之松季山自筆 童話桃太郎長歌伊藤維恭自筆
- 第42 老の寐覚続貂玄斎
- 第43 勾引 山口行齋書翰 医学 名玉談 刀剣談 知舜 忠度の歌

- 宗良親王の歌 短尺筥 湯浅常山碑文 松林銘 馬町の孝婦竹
- 第44 玄斎随筆
- 第45 八尺蛸 春田打 花かつみ 末松彦太夫 池野檢校 庄内昔の土風
志賀市太夫 蘭女 巧者の廉潔 重田道達 長谷川権左エ門及高力忠兵衛
高力喜兵衛の文事 忠度の歌 林子平の歌 唐錦の事 前田長庵
山口行斎 長寿媼 鉄門海 一遍上人の歌 杉山廉女逸事 白固の歌
雑記数則 鷹山公
- 第46 窓の燈火卷四玄斎 雑抄
- 第47 雑記
- 第48 玄斎詠草 名家詩抄 入木説 龍沢寺道の記玄斎 先考の手沢
- 第49 山口行斎 五雲子 明画録 火浣布 画題数則 偽せ公卿 中村丑右衛門
雑記数則 竹内東斎 田中万春伝
- 第50 田川長福寺雲仙画幅 義経公 雑記数則 坂尾万年贈答 新井白石
春台非義士論 野中兼山 伊藤仁斎 宇治拾遺抄 笏 壺の石文
代々高尾 歌談数則 雑記数則 おあん物語
- 第51 茶の喫様 北窓瑣談抄 八岐の蛇 菊物語 田沢越前守 渡部幸庵対話記
舟橋参詣関口為久 きね川東照公木像久留古曆
- 第52 閑田次筆抄 浅川聞書抄 田中蘭斎の先祖 閑田次筆抄 大泉来遊画工 雑
抄
- 第53 石川見聞集抄石川正西 曾正啓 天国の剣 鳳啣寺某 延命院日通
高力左近大夫 本多出雲守 賈荘内藩士 片山七兵衛 中台式右衛門一件
多田又治面扶持 本間金貸初 雑記五則 小寺信正 安倍宗蔵 儒医連次
往昔城衛の姿 明石治右エ門 袖浦の桜 城中かぶり物せぬ事
栗田氏早打被仰付 御鎧着初 古人質素 白川侯節儉 米沢侯仁慈
先例雑件 歌談 俳談 越人及丈草 書画談
- 第54 雑抄五則 大乘公殉死者辞世 金瓢長柄の起源忍び轡 信房刀
小出角右エ門民朝 池野檢校 川村又七 川井茂右エ門
山田四郎左エ門母 獅子王甲 加藤大弍 堀彦大夫 高橋郷右エ門
本多六郎 野沢与吉 臨機の処置 稲垣勝之右エ門 秋田主水
梧窓漫筆抄 安倍次郎兵エ 船戸虎庵の歌 家老芝居見物
羽黒湯殿山公事 小野元珉 松宮三郎治妻 中院通村卿の歌 家居の弁
尾張の仙媛 名所今歌集出羽の部
- 第55 雑記九則 那波道円直言 武士の廉恥 妻木氏家史 左衛門名の事 妙薬
真柄十郎左衛門の墓
- 第56 校合雑記抄堀丹後守直寄家臣の編 画工月嶺の談 雑記七則
- 第57 大久保勘介と大沼龍右エ門 松山総光寺 蔵法師 小寺門之丞
忠臣死霊訴讒 秀頼公父子 美妾招災 一位局 三ふし草 進五郎左エ門

- 檜の拵 沢庵和尚 同消息 庄司恕右エ門 益軒楽訓 昇平の武術
 父慾害実子 中台式右エ門一件 長州萩 大家作右エ門
 藩士の女を町医者に遣候例 歌談数則 長者の金自慢話
- 第58** 井伊公 素性の違 大久保彦左エ門 石橋源右エ門 杜家の詠
 笠金村塩津山の詠正一位の神社 志水冠者 宗良親王 坂尾万年江戸話
 小寺信正 齋家心得の歌 久留古曆御積中儉約 大川為八佐左エ門
 石田畔見 大泉人の随筆 太田玉庵 清領院殿 士人の心得 山本重次郎
- 第59** 名君逸話八則 片岡平八郎復仇一件 槍術逸話 紅蓮菓子 亀井道載の詩
 瘞琴碑 徒然草拾遺鈴木倫庸
- 第60** 野翁物語抄著者不詳 鳩巢手翰 帳の出典 砂糖 美喜伝伊藤維恭自筆
 郷中内密聞書 古士談話抄致道館蔵著者不詳 松島の詩歌 真壁平四郎
 雲居和尚 大岡越前決獄 書画談六則 小石川後樂園多田叔靖手翰
- 第61** 真淵大人の文を論ず宣長 よりとゆ 俗語 姓 あがた 大君 男女の手本
 天の逆手 三の柏葉 梶の葉梶女歌集 鈴屋集抄 千蔭歌抄
 後撰集抄真淵注 歌談 柴栗山研譜 平子和東閣主人 伊藤東涯博綜
 白河白猿 額字説源弘賢
- 第62** 米沢実話 十策答問 亀井道載 土肥大炊林道春問答 河上三七 江口峰八
- 第63** 風土記 国書焼亡の厄 忠臣 学者の機智 安倍郷助の鎗 野翁物語抄
 医話 奇病 任槐極官 昔の俳諧 瓶蓋病 斛茗痕 淮南佳品
 聖徳太子肉筆 介錯の事 徳廟逸事 歌談 桂女大明神 靈光公逸事
- 第64** 歳晚閑談 春海の文章 儒学四大家国学四大家 奉五十規園大人靈前歌白固
 俊頼朝臣筆十五番歌合 野翁物語抄 和歌の欠字 玉鸞 婦人の害
 雨乞の歌 谷口躬風横死 公人朝夕人 相撲雑話 角力上覧の記成島峰雄
 安倍助三射術 三好幸太郎弓術 鈴木善太夫 基角書翰
- 第65** 君則抄 君臣言行録抄人見有節 山口行斎書翰 雑纂抄季義山
 醉古堂剣掃抄陸紹行 雑記 九木画談 書画談数則 田川入湯日記玄斎
- 第66** 府君の出典 菅公讃 諸書抄 酒井長門守横死 久米景山行状 五老先生行
 状
- 第67** 閑中の楽境 木曾のかけ橋 世にあう歌 龍溪上人の話 奥村氏の信義
 源廷尉と金売吉次 日本武士の風 松平豆州勅答 硯譜 孝伯自像讃
 平賀鳩溪 岑子陽 文人画
- 第68** 君臣言行録抄 学風学派 棠陰大夫逸事 大養濟院 深野万碩逸事
 室鳩巢論 朱舜水伝 鐘馗 本邦硯 鎮西上人賜号勅書 豆腐
 棠陰大夫妻女逸話 人材 古学家の歌 典礼 江芸閣山口行斎唱和 温泉説
 大坂気質 大鬚 水口侯の大夫 龍説 東呉の石鉢 唐人の艶書
 聖徳太子未来記
- 第69** 東照公儉徳 雑抄雑記十二則 福尾藤兵衛 岡本半助 柵 中院通村卿

- 稲葉能登守儉約説 祖心尼了然尼 有馬頼利の室 孝悌の感応
 国体の論二則 武士の不覚 信綱君行状記抄 塩尻抄 作歌の難
 適意の詩 書家赤城談東都の儒風 雑記雑抄十四則
- 第70 芭蕉の事 睡余小録抄 定家消息 千宗旦 雑抄 歌言俚語 望夫石
 孝子早坂貞吉 避蚤方 里茶の湯 鶉衣抄他有 楽翁公忠発公へ御教訓
 矢代太郎書上地震除 雑抄十二則 小宮山杳之進尺牘
- 第71 随筆
- 第72 窺斑録玄斎
- 第73 至誠感人 楠正行 後藤良山 雑記雑抄十一則 赤城の東都名家談
 廉女小伝忍草 盲人長薫
- 第74 狂歌贈答 古絵馬 禿 湯淺又兵衛 福島正則報恩 坂部平内の名言
 歌談数則 猿橋凶 雑記二 門田早苗抄 蒿蹊 白井固訃 寒山詩
 陳元賛 雑記雑抄 帰命坊 後水尾院御製 弁阿歌話 上杉則政 楠正儀
- 第75 長州の文学 原玄恕 小関貞橘 蜀山狂歌 屋代弘賢 忠寄公逸事 老人会
 呂洞賓詩 安親 宣時 一秀 中田七郎兵衛刀劍談 大泉の書家
 蘭斎筆のすさみ 塙保己一 梅宇の東都名家詩歌集 大川文窟追善
 我おもしろ黒谷対鷗 天狗の怪 蛇怪
- 第76 老いの寝さめ贅言
- 第77 雑記雑抄 天保四年水災記 学要弁荏戸太華
- 第78 老いの寝さめ贅言
- 第79 考妣行状録 堀季雄答問 上野子彦 亀田鵬斎書簡風間文鱗あて
 大場宇右エ門書状高力奸曲 西海肇陽 東都名家書蹟 北辺成章の歌
- 第80 窺斑録
- 第81 歌数首 蒼生子歌抄 勤儉訓 諸友物故 膳所侯逸話 養老札 山季和行状
 清朝時事 果合等 玉江三穂蔵来状 石原金四郎 梶原久三郎惣崎勘六
 幽沈亭民朝 祖父仁慈 金峰祐慶上人 柏倉彦作行状
- 第82 消夏録
- 第83 玉鸞伝 礪麻呂について森周意 御本丸紅葉山消息 梨雲館清語 真淵判歌
 玄斎歌稿 茶摘見の戯文 墳をあばく 伊藤豊後 田中三郎右エ門 あやめ
 草
- 第84 庭の落葉
- 第85 大泉歌集玄斎
- 第86 故郷黄葉松風斎
- 第87 久米景山正木蔓 羽倉東満 賀茂真淵 魚彦筆日本紀 春台儒葬
 老人雑話抄江村専斎 古今図書集成 八百屋お七実伝 湯浅常山 雑抄
 神代文字 玳瑁 歌話数則
- 第88 伊藤梅義 孝子阿部佐惣右エ門 孝子山内五助 加茂大火 見龍寺某偈

孝子平兵衛 初君 茶談 篠崎弥太郎追討 阿部三郎兵エ追討
神農縁記小野玄珉 養生訓 幽斎讃酒歌 固と酬和 禅龍寺某 源鱗の硯
君臣の好会 藩士切腹 大谷村吉之助 詩歌の人柄 石原平右エ門
黒はばき 新関因幡 高力忠兵衛手簡

- 第 89 歌の本体 豊原多助 一夜酒 梅月女 食量の今昔 老人雑話抄
白井玉井千代梅母子 子殺し 諸将雑話抄 惶窩逸事 石田三成女
法隆寺聖賢瓢 尚斎座右箴 盲泰順 塙検校 鍼医玄察 益軒の徳沢
儒衣の語源 金峰祐慶上人 渡部郷兵衛蔵達磨名画 久米五郎兵衛
人見意碩 義経記の庄内地名 御鷹考 一智公夷舞 氏家龍溪
- 第 90 御積り始 碑銘と庄内名筆 本多蔵達磨絵 行事屋 松平内膳 加藤大式
神田邸拝領は白石の建議 宮田屋敷 石原平右エ門屋敷 十日町大火
石原重則 豊原重箴の歌 膳所侯逸事 一智公の舞 小笠原忠真
大津土左エ門 忠徳夫人 和漢の学 松平酒井両家老御叱一件書出
加藤大式兄弟 左沢筆記 玉箒 歌の闕字 歌談 猪飼石斎
谷風丹右エ門 常世安党 鷲老山人 自戒 桂川心中実説 庭の教
名妓花扇筆蹟
- 第 91 長谷川権左エ門 立石六左衛門 芸術世禄に付仰出 西郷弥右衛門
柴谷武右エ門陶山七平 東陽夫人忠真を教う 政運公逝去 達三公実母
陽山世子と備中忠解 性徳院忌 天宥 煎茶小述 石原逸話
丹羽正伯採薬 三村常和の歌 大泉軍学の師 大式 墮落僧梅岸
忠兵衛郷入 池田藤九郎 義教和書翰 両朱閣詩 信正
小寺三郎兵エ被仰出覚 池田讃岐 瀬波金堀朱印 御羽軍 伊南図書
城中稲荷初午 俳優大谷広右エ門父子
- 第 92 鶏肋篇抄
- 第 93 同
- 第 94 消閑漫筆
- 第 95 歌三首 田舎学問 田舎書画 道話四則 画法小識と疱瘡水鏡録
寺内求馬の相撲談 歌道の衰 歌話 千代梅の歌
- 第 96 俳人逸話 雑記三 龍骨文多田翁助 歌論 長坂吐鳳 二食の俗
天保五年合積書 花かつみ 林良書画 鳥海神体開帳 展墓
- 第 97 冬夜漫筆二 師廉女 読雪窓記文廉 廉像 庄内騒動記 契利斯督記
画工文盟 歴代花押 喜兵エ兄弟 坂尾兄弟五十社詣 画工九犀
深沢順女田中愛女 藤井紋太夫 歌論 金峰懐旧 梅月 惶窩 田中省吾
梅月の白拍子舞 青巾道人 金峰紅葉狩 江戸時代女流三筆
隠居所腰張の贅言
- 第 98 まさか武士 常道 歌三首 固慧眼 鍬の画讃 三志行者
中野石翁仙石一件 魚澄荊山詩歌 道灌の歌 東野州の歌 千代梅歌才

佚山墨蘭 鳥海玄柳 鳥海松亭 感懷帖 歌論 応酬 誠信の徳
東都女敵討後聞

- 第 99 俗恩園詩歌 清水道円 平賀源内小伝玄柳 観世喜兵エ源内異聞
千引石種彦 先代旧事大成経
- 第 100 菅原佐馬助筆記 奢侈戒二 松籟軒 贗公家田村定信 諸友物故
村田助之進郷入 天保新銭 生涯一首 歌碑 古人の用意 四賞亭
費漢源尺牘文徴明画幀 安倍孺人八十賀文と歌 子孫訓 安子小伝固
屋代弘賢 日向氏僕土左エ門
- 第 101 古江の藻屑
- 第 102 息子江戸便り 仙石一件記録 酒田の寿嫗 雑記数則 山陽詩歌その他
- 第 103 修養論 雑記数則 北楯利長送別 治病逸話 加藤昇三郎詩 歌話
贗道人鶴山 米沢治績 癩症妙薬 仲景考 原昌克 雑記数則
崇禅寺馬場復仇 雑抄雑記数則 古川平太左エ門 瑞柏 薄遊満載
不二軒二衡像 高坂洞春院五逆坊 多田南嶺 並河天民
- 第 104 玄々譚 蓮台火事
- 第 105 南頭院柳福寺一件 柏倉弥十郎姦曲 申年運氣論 氏家嘉右エ門
長沢鎮輔兄妹 服部八右エ門 久米五郎兵衛 存寄を通した物頭
伊藤十郎右エ門先祖 金谷橋虎三郎三矢利助 上野九犀 出奔者の子家督
士風の頽廢二 天保申年凶荒 同年諸国作割 庄司伴蔵
天保丙午米騰貴と買上 内願の弊 盲訴訟 寸志御扶持
- 第 106 瘞琴碑落祭 雑抄数則 長寿談 茂睡の歌 了然尼 歌談二 頼朝の死
片桐剛太郎の死 鬪雞野 花岡国華 清涼亭雅会 荒川秀山 日尾荊山
最上川埋木 蜀山東作狂詩歌 了阿 宮部義正 俊成卿九十賀 専念寺紀
行
- 第 107 橘千蔭 秀山劍舞 義経 千代梅歌 東昌寺賞月詩歌 進山山荘の遊
大信寺勝行院尼歌 固逸話 米沢の詩 鶴斎追善 固玄斎千代梅唱和
池田野太夫重安 画学捷徑序 平洲手簡
- 第 108 歌談 舜水巾 玄斎隱居 雑記二 百川学山 けんたい 張天師節物時食
阿部閑近翁談 俊恵法師自讃歌 人丸忌 尼崎通斎 感吟 新撰万葉集
和田吉次郎小竹大八の孝 岩佐玄策 士風の頽廢 水野右近重栄物故
梶左兵エ督定良 日光山大千度と入峰禪頂
- 第 109 雑記雑抄 土方嘉右エ門酒乱 語釈 一ノ宮考 華岳邂逅
加茂村明石堂焼失 玄斎剃髮 関帝像 廉吏 勝木平助
- 第 110 朝岡氏小集 佐藤方定の話 石田畔見の歌 大泉古学の初
一夜草方定送別宴筆談 華夷班断抄方定 同付録多賀城跡偽碑弁 贗碑考
附言
- 第 111 ひなみのたはわさ 景樹 弘訓 山陽兵児歌と喀血行 戒酒文と歌

竺志船物語の出自 自励歌 魯道と贈答 大泉歌人談 歌談二
俳人宜麦乙二 亀井元鳳 渡綱の渡 ヲシメ神 玉川寺 善光寺
しな布考 田村八右エ門僕

- 第 1 1 2 天保八歳旦 荊山と未知友人消息 大山祭 画工陸齋 花かつみ玉章
龍覚寺周英 渡部三五郎 玄齋六十初度賀歌千代梅 校正落久保物語
お期女讚 鑑定雑話 玄々亭記 金峰行 玄々亭記秀山 朝比奈泰敏の話
総穩寺元龍 徽宗白鷹図 画工文珪 海老鞘卷 義経の笈 祇南海女達磨
一休最後 玄齋仏法観 銅印 東坡硯蓋名 朝鮮人の歌 五筆和尚
本邦の字書 応挙の幽霊 酒折宮御神体 魚籃観音 菅雄死 天真留別詩
呈玄齋翁書天真自筆
- 第 1 1 3 弘采録継続の辞 平洲書簡 米藩医渡部吉郎 平安四竹 透源院円濟偈
花岡庭賢 学問 東条一堂 安東省庵 省吾 山岸道一 白任卿逸事
金峰行 加茂行 息壺上京送別歌 相撲稻妻 歌談数則 農家三種神器
荷田東満 冠制芦手かき 雑抄四 歌談 名字 あごな 学山嵐二玄齋唱
和
- 第 1 1 4 和漢民性 芳野拾遺 末松兼恵子死 夫木集 正義と細川頼之
千百年眼明張燧 ばかり 人参和名 狼 童の盜 杜の下草序歌稿
けん台門松 武士 大泉坊竈賢の歌 胡桃の奇験 荊山 みのしろ衣
棘の道 良穩和尚
- 第 1 1 5 天保九歳旦 唐太宗戒石の語 中根文兵衛婢 江田左門 琉球人来聘
真淵色紙 文晁像 玄齋白井母子唱和 由良油戸大火疫癘 慨不遇長歌
岡林竹山谷燕齋書卷 清水谷公正色紙 乙坂某齋木林介 言靈 安齋歌論
謡曲黒川 三山雅集 羽黒 十綱の渡 大鳥山八尺木伐出
- 第 1 1 6 進藤和泉の僻論 慨不遇歌 出羽 三郡考 大泉 小物忌神社 五所王子
阿古屋松 大泉八景歌 小川弥次右エ門勝木平助 大忒 忠難随筆大忒
石井宇右エ門 高力喜左エ門一件 庄内地震 石原百度右エ門 本多出雲
忠尚母 家中知行
- 第 1 1 7 伊氏波問答 雑記数則 春海の学識 酒井一笑書論 雑記数則 屋代論池
村井八二悼歌 伊藤如陵 雑記数則 魯道見真龍 遊女画讚歌 歌談二
雅筵醉狂集 歌談 佐藤民之輔書状 雑記数則 涼み草
- 第 1 1 8 年賀歌 玄齋年賀 千代女唱和 益軒詩佛真蹟 神道道しるべ野々口隆正
新選百名家書画帖にのる庄内人 古琴 尚齒会 水野蘭犀 長龍山小集
逸都四分田苗津八尺坊 武家閑談抄 恋の歌 天神獅子舞 伊勢神楽獅子
四所明神沿革 諸家勸請奉納 正覚坊温良の歌 天宥 雑記二 歌談数則
加都美考
- 第 1 1 9 叔靖偶成玄齋漫吟 西山公逸事二 柴栗山神武陵詩 元文三大嘗会執行
国保彦兵衛 かち色 池月 地主貞吾筆記抄 巡見使黒田五左エ門 禰宜

孫孝之助 宮部儀八 大梵寺古川 十五里原六十里越 堂形文下
煎茶の流行 吉井吉之允弓術奇談 氏家門大夫武芸稽古 自得の鏡
源十郎火事 西丸炎上 疱瘡呪薬法

第120 金峰南頭院心越真蹟 天保巳奥羽飢饉 雑記数則 玄斎白井母子唱和
小川秀寿 加賀の欽堂 柏倉長卿談二 犬塚伴太夫の話 加賀山東里逸事
榊原武則寿蔵碑文 杜鵑 中空日記 玄斎年賀屏風歌 正木のかつら
雑記二 和文碑 九臯遺稿

第121 大泉歌集拾遺 蘭犀 太華 救荒便覧遠藤鶴洲 歌談二 晋子許六
千代梅 谷崎勾当 物語の出典 蟬丸 駅鈴 歌談三
阿古屋松記堀田正亮 榊原武則建碑 北楯助次郎の手討 隠居の心得
温海の口すさみ 四季歌 紀行解題 飢饉雑話 眼科奇談 棠陰の方寸七
松宮儀八郎 知人物故 雑記数則 玄猪考 渉書雑記数則 嘉右エ門

第122 天保十歳旦 長寿翁 御金蔵の賊 金谷橋水卿荻生家訪問 種彦 斐雄
松村為善納有孚玄斎唱和 詩歌談 寸松庵切貫之真蹟 観月歌夏蔭
三升里正大滝六郎治 捕賊雑話 東林学党 弘法の歌 総穩寺卍凱
鳩巢惶窩和歌 松島無孔竹 上野等彦田中子直 二月郭公 有孚別宴
偽書一束 塗盃清酒 玄斎年賀詞と歌 慶玉碑
天保十年十日町火事と黒氣 仙台上野丈右エ門一夕話

第123 大督寺花見 納松枝送別歌 末松家花見 六玉川の歌 松平久吉
大谷村の目先 高田直治 朝岡氏別荘小宴 井上伝兵エ 山王祭
足利義政の歌 吉野物語 御打立 坤輿北流 儒生国学を疎んず
活学の要 入日をかえす話 一条西行 長寿論 固七回辰と春來帖跋
建部山彦死 白拍子 鳩溪一家言 群書類従 雅筵 大式和歌 蓬萊舎雅
集

第124 田泉清遊 畔見 躬風夢中の歌 清少納言の墓 素行 華山
石井一遊子亭清宴 科戸の風沼田順義 水之行衛川名林介 女誠和解
士風頽廢 小関三英死 池田一毛書 三英華山 山陽 道載卓見 小説
人胆 織錦翁逸話二 歌話二 惟成弁 端午の蓬
天保亥洪水と袖日記和泉 歌談数則 安食伯行訃 大蝦蟇 甲州流兵法
歌談二 小物忌考 山陽漢文二

第125 亥春歌 女誠和解序楽翁 歌談 一字の師 自寛 連歌師の歌 奢侈戒
省吾 鉄眼禅師 袖の浦 さかつら箆 俳諧師旧宝 絶調 雑記三
亥年虫害 広幡の八幡 桔校 本朝字書 末松氏女手向の歌
玄斎白井氏贈答 三峰楼観月 富士詩歌 雷鳥 龍覚精舎雅筵
慶玉碑落成 深照院消息 犬塚又内 長州殿秘計書 末松吉左エ門

第126 西郷局 東禅寺右馬頭 榊原南山孝碑消息 山彦碑草案の事
興林山慶玉忌 羽黒一の鳥居跡碑文 中村伊右エ門 雑記二 山本宗佐

細谷村修驗成就院 智舜上人 省吾 天真俗名 繩正 杉山侶蝦遊
金峰紅葉 諭親辞 方定蘭方駁斥 白求橘外 荻原内匠 名家詩歌俳
山彦玄齋答問 天真書論

- 第127 天宥 貫之女 小堀大膳鑑識 自寛 契沖真蹟 山桜戸 寿嫗
うやむや閑考 鷹山女訓婦行和解 岑子陽 荊山の訓点復古 書家篁齋
西山公真蹟 二食考 寿嫗小伝 鏡塚慶玉碑
- 第128 真田侯 中条春庵 鈴木筑太夫 かるさん 安藤帯刀 富士の歌
弘道館凶 水藩追鳥狩 手討 土井主膳 長坂市郎書状 俠夫譚 御永城
浦回之珠序 博聞集叙
- 第129 光格天皇 水戸烈公行実 三峰楼記 梅花記 笏 榊 浪人封事 優雲華
牧東海 加藤昇三郎 かちん 袈袋 阿子の称 菅廟 君臣所を換る
四十七義士 文の弊風 雪の盛り 金嶺追懐集 鹿島駅鈴考 出羽国号考
尔姑草
- 第130 うつろう菊 虎松復仇実録 田川豊後 桜狩 徂徠親類書 弘道館碑
水戸侯歌 一齋水戸侯を送る序 腰鎌堂集 御巡国
- 第131 玉のみすまる序 観山行状堀季雄 常陸坊海尊 寿嫗小伝 重胤長歌
菅雄長歌三 板倉甚太郎家老切腹 石沢永卿墓碑銘 林訖甘露賦 和備考
重胤長歌 弓削物語 奇夢筆記 孝婦繁 本多越中忠貞行状
遊女ふみ和蘭消息 天真死 節女阿正伝
- 第132 邂逅筆談 重胤長歌 豊岡姫 弥彦の碑 金峰の額 泮宮の諱
黒崎氏追善 永卿展墓 天真辞世 初君の碑 君字の諱 积日恭書
水戸公 石弩文 菅孝伯手簡 下治右衛門 齋藤道三 重胤 神君御詠
白鵲白燕白雁 風樹の感 信玄謙信
- 第133 遠賀の山ふみ 成島司直上書 喫茶譚 稗史に見る庄内
- 第134 奥羽観迹聞老志
- 第135 老樹談 擬仙窟李山 近国奇談 阿古 公卿の又平 阿古屋松
- 第136 先哲懿範
- 第137 越路の雁 本朝奇談著者考 歌論二 近国奇跡談抄 田川太郎子孫
方定書簡 山彦碑文批評方定 重胤に与うる書方定
- 第138 省吾履歴考 赤穂義士真蹟考
- 第139 あやめの歌 花の色はの歌は小町にあらず 仲麻呂 文覚自讃の詠歌
人情知りがたし 牧七郎左エ門政事の才 高須弥介徳行 常山翁とその詩
岡山烈公 白石雪を賦すの詩 鶴楼の伝 書画の姓名 僧の奸悪
中華の俗語 青魚子 真物を貴ぶ 清正 蓬萊足曳 犬まねき
木瓜奈甘棠 徂徠の歌 稻荷 廉の歌 天草四郎の相 国姓爺 業平
真淵 亀ト 古智を祖として誤る 神書抄